

2月22日、大阪大学生生活協同組合理事長・江口太郎様、同専務理事・関戸雅弘様、同第一事業部・十川仁宣様、微研同窓会から木下タロウ 藪本難病解明寄附研究部門教授が出席し、松代輝子氏（松代愛三名誉教授令夫人）に感謝状と記念品が手渡されました。これは、第24回美術展出展作品「アマルフィーの海岸」（油絵・100号）を大阪大学生生活協同組合へ寄贈いただいたことによるものです。

「アマルフィーの海岸」制作過程では、輝子夫人が撮影した写真を元に絵筆を進め、松代名誉教授が色の一つ一つに注文をつけたといいます。そういうことで、「この作品は二人の共同作品です。」と輝子夫人はおっしゃいます。世界遺産にも登録されているイタリアのアマルフィの晴れやかな一日を題材に、明るい色彩で表現された作品です。

作品は、Kitchen BISHYOKU へ設置され、食事に来られる学生、教職員の目を和ませてくれるはずです。



江口太郎大阪大学生生活協同組合理事長より表彰状贈呈



表彰状を受取り笑顔の松代ご夫妻。



左より江口太郎大阪大学生協同組合理事長、松代愛三名誉教授、松代輝子氏、木下タロウ藪本難病解明寄附研究部門教授。

(文責：井村亜矢)